

【全体概要】

日本なしは、本県を代表する園芸作物で、大型選果場を有する大規模産地や庭先直売を中心とした多様な産地がある。しかし、いずれの産地も「幸水」に偏重した品種構成にあり、作業の集中による品質・収量への影響や経営規模拡大の阻害要因となっている。また、担い手の高齢化による廃園や樹の老齢化に伴う生産力低下により、県内の産地は縮小傾向にある。

そこで、「幸水」とは熟期の異なる新品種の導入によって経営の安定化と新たな産地ブランド品種を育成するとともに、平易作業な樹形で作業の省力化が期待できるジョイント仕立て樹形の導入加速化を図り、樹園地の若返りと新たな担い手の確保に資する。

新品種・新技術等の概要

品種特性の把握

○検証品種

「はつまる」、「香麗」、「甘ひびき」、「秋麗」、「甘太」、「王秋」

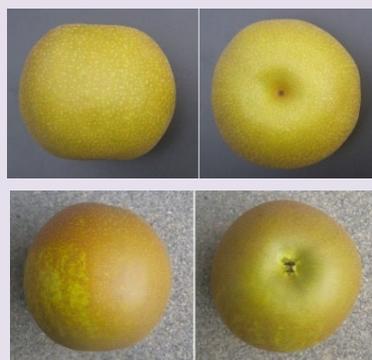
○検証内容

- ・生育、果実品質特性と病虫害発生状況の把握
- ・市場評価の把握

ジョイント仕立て樹における側枝管理方法の検討

○検証内容

- ・新梢管理方法と側枝形状、花芽率との関係
- ・側枝候補枝の確保に向けた追肥の効果検証
- ・側枝切除方法の違いが新梢発生に及ぼす影響



日本なし「香麗」(上図)及び「甘太」(下図)



側枝の切除(秋季+春季切除)

表 側枝の切除方法の違いが新梢発生に及ぼす影響 (R3年11月)

処理区	新梢が発生した 切り口の割合 (%)	発生本数 (本/切り口)	新梢長 (cm)	花芽率 (%)
秋季+春季切除区	83.3	1.4	119.0	48.5
秋季切除区(対照)	73.3	1.0	132.0	51.0

※秋季の切除はR2年11月、春季の切除はR3年3月に実施

※発生した新梢はR3年7月上旬に仰角45°に誘引

主な取組内容

【検討会】

- ・実証ほの設計・成績検討会、ジョイント栽培研修会の開催

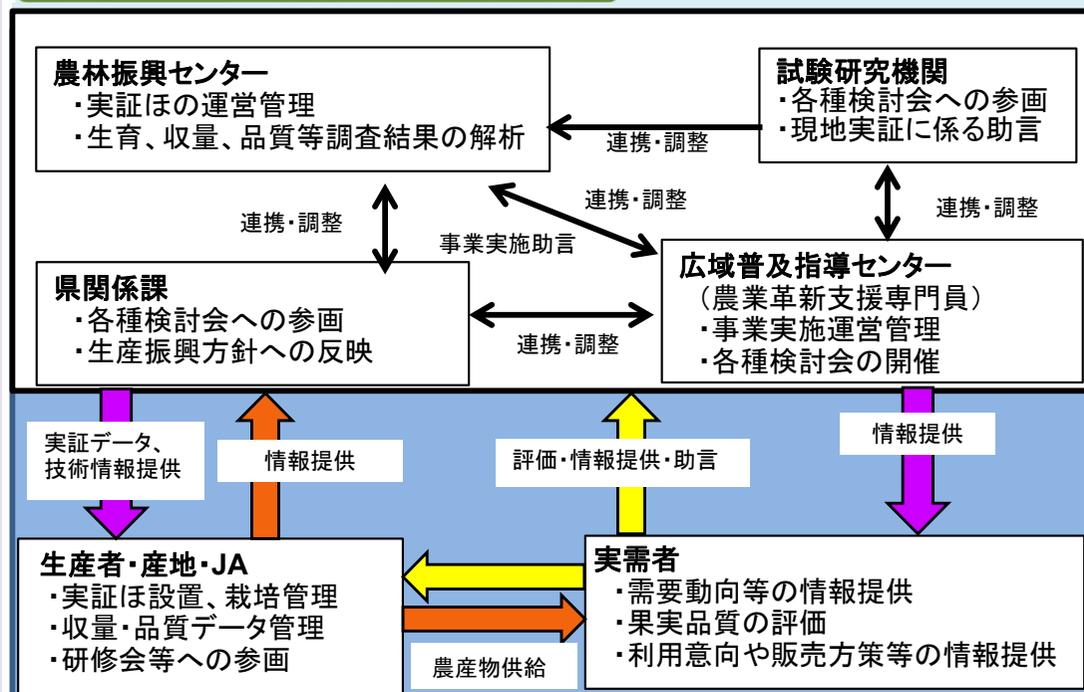
【技術の現地検証】

- ・品種特性の把握(R2~R3: 4か所、6品種)
- ・ジョイント仕立て樹における側枝管理方法の検討(R2~R3: 2か所)

【実需者ニーズの把握と先進地調査】

- ・市場での試食検討会の開催(R2~R3)、新技術の先進地調査(R2: 埼玉県)

実施体制図



実績と今後の展開

- ・供試した6品種の本県における特性が明らかとなった結果、富山県果樹推奨品種として「香麗」、「甘太」を準推奨品種に、「はつまる」、「秋麗」、「王秋」を試作品種に採用するとともに、品種導入マニュアルを作成した。
- ・ジョイント仕立て樹における側枝更新技術が明らかとなり、栽培マニュアルを策定した。
- ・今後は、これらマニュアルを活用し、新品種の生産拡大やジョイント仕立て樹形の導入と安定生産を図る。